

# 新・十日町市になって初めての「市勢要覧」で「支援センターあんしん」が紹介されました！

ともに歩む

十日町市の未来 健康・福祉・安全

住みなれたまちでいきいき暮らせるよう  
福祉、保健、医療体制の充実を図ります。

まちづくりの主人公たち 3

私たち市民の理解があれば、  
障害者も立派に社会に参加できるんです。



障害者が自立して暮らせる仕組みが  
市民生活の中に自然に根づくように。

障害者がこれまで暮らしてきた地域の中で、お互いに支え合いながらいきいきと生活できるように。そんな願いから設立されたNPO法人「支援センター あんしん」。新潟県中越大地震で受けた甚大な被害を乗り越え、市民や企業の協力も得て、近ごろようやく事業を軌道に乗せることができた。



デイサービスでは個性を伸ばす活動を行う。  
A shot from a day-care facility.  
Una scena del servizio giornaliero.



トイレトペーパーの受注件数は順調に伸び、毎日大忙し。  
Numbers of orders of toilet paper are increasing satisfactorily.  
Aumenta notevolmente la produzione di carta igienica.

きました。市民の協力とは、製品であるトイレトペーパーを購入すること。毎日使う消耗品を通して事業の運営を支え、これまで働く場所が少なかった障害者が仕事をもち、収入を得ながら生活することが出来ます。配達や指導のボランティアには、会社勤めや子育てを終えた人々が活躍。このように、無理なく、自然な形で障害者の自立に協力するという意識が市民の間にも広まるようになりました。

NPO法人  
支援センターあんしん

十日町の地域福祉を充実させ、心豊かなまちづくりを推進します。障害者の入浴や送迎といった在宅支援サービスと小規模作業所の、2つの柱から成り立っています。作業所でのトイレトペーパー製造は増産体制を整え、ゆくゆくは社会福祉法人化し、授産施設としての認可を目指しています。